

「さかい子ども司書になろう！」講座第3回

本の紹介文をつくろう！



＜紹介文をつくるときに必要な内容＞

本の紹介文づくりでは、紹介文を読んでもらう人に、紹介されている本がどんな

本なのかをわかってもらう必要があります。そのために、

- タイトル
- 作者
- 出版者

の3つは必ず書いてください。

今日はこの3つのほかに、

- キャッチコピー
- 本のあらすじ（内容）
- おすすめポイント

も書いてください。

＜紹介文をつくる上でのポイント＞

- ① 内容を書きすぎない。ネタバレしない！
- ② どういう人に読んでほしいか、想像しながら書く。（たとえば友達や家族など）
- ③ 自分が書いた紹介文を読んで、その本を手にとってみたくなるかを考えながら書いてみる。
- ④ 文章が書けないときは、短い文をいくつか書いてみる。
- ⑤ あまり長くならないように、伝えたいことは1つにしぼる。
- ⑥ キャッチコピーでは、注目してもらえるような言葉を使う

<紹介文をつくる上で必ず守ってほしいこと>

・人の文章をまねしないこと！

自分の考えや気持ちを文章にしたり、映像にしたりしてできたものを「著作物」といいます。その「著作物」をつくった人には「著作権」という権利が与えられます。この著作物を、著作権を持つ人に無断でコピーをして、それを公開することは法律で禁止されています。

本やインターネットに出ている文章や絵には著作権があります。それだけではなく、友達の描いた絵や本の感想文などにも著作権があるので、人の文章をまねしたり、絵を丸写ししたりすることは絶対にやめましょう。

必ず自分の言葉で、自分の気持ちを書くようにしてください！

これらのきまりごとを守ってもらえれば、あとは自由に書いても大丈夫です！

• こんなところをおすすめしたい！
• ここに注目してもらいたい！
など、みんなの素直な気持ちを書いてね！
絵を描いてもOKだよ！！

